

応募No.23 『なるほどコンテスト』応募用紙

タイトル	完全分業制度による作業効率化		
会社名		担当者名	
業務	地盤調査	・ 地盤補強工事	・ 測量
分野		・ 建物検査	
		・ 作業効率改善	・ 安全活動

活動に至った経緯

元々分業制度はあったが個々の能力向上と社内における規律や効率化の向上を図るために社内ミーティングでの提案により検討したのが経緯である。

改善後(工夫した点・苦労した点など)

改善前:最終の図面チェック者が特定されておらず、社内での報連相が少なかった。ここでのチェックのみだった。
 改善後:最終図面チェック者の特定。社内共通のスマホにてアプリを共有し報連相の徹底。ここでのチェックのみではなく時間短縮の目的で帰社の早い社員が他班の図面チェック(これにより社内における帰社時間のバラツキを改善)
 ※班編成やその日の工程によりかなりバラツキがあるため、毎日の変動に慣れるまでは苦労したが報連相の徹底により改善。

PRポイント(アピールしたい点や社内の効果など)

個々の責任を持たせることにより、重圧があるがその分やる気と向上心が出る。それが社員全員に浸透し仕事に対しての意識が変わり社内全体の雰囲気も良くなった。時間も短縮され重度のミスもすくなくなり負担が減った。
 完全分業の効率化は自分の仕事以外はやらない、知らないではなく皆の仕事を理解する事。お互いが協力しあい補うことによりそれが完全分業制度の成果につながった。

写真

コスト(活動に取組んだ経費など)

個々の能力向上のために事務作業における備品など
 社員全員のスマホ支給、共有できる有料アプリなど